資料No. ３

令和３年４月２０日
高　校　教　育　課

全国高校生プレゼン甲子園について

１　目　的

テーマについて深く考察し、自分の考えや念(おも)いを「伝える」ことで、論理的思考力、表現力、創造力等を養うとともに、互いの発表を通して、プレゼンテーションスキルの向上を図る

２　日　程

（１）予　選

申し込み・予選動画提出	６月　１日（火）～６月１１日（金）
予選動画審査期間	６月１４日（月）～７月１６日（金）
予選通過チームの発表	７月２１日（水）

（２）決　勝

決勝動画提出	７月２６日（月）～８月２０日（金）
決勝大会（オンライン）	８月２８日（土）

全国高校生プレゼン甲子園実施要項

１　主　　催　　全国高校生プレゼン甲子園実行委員会（事務局　福井県教育委員会）
２　共　　催　　一般社団法人プレゼンテーション協会
３　後　　援　　福井新聞社

４　目　　的　　テーマについて深く考察し、自分の考えや念(おも)いを「伝える」ことで、論理的思考力、表現力、創造力等を養うとともに、互いの発表を通して、プレゼンテーションスキルの向上を図る。

５　テ ー マ　　**「コロナ禍の先にある未来への提言」**

予選テーマ：コロナ禍でのコミュニケーションロスへの対応（プレゼン時間３分）

令和２年度は新型コロナウイルス感染症によって登校が制限され、友人と直接会うことができず、SNS などでコミュニケーションをとることが多かったと思います。しかし、オンラインでのコミュニケーションには限度があります。また、今後も、いつ外出や会食が制限されるかわかりません。そこで、在宅であってもリアルと変わらないコミュニケーションをとる方法を提案してください。

決勝テーマ：アフターコロナの社会（プレゼン時間５分）

コロナ禍の中で人との接し方、普段の生活、働き方など、これまでとは随分変化しました。そこで、コロナ禍を経験した後の未来の社会や生活のあり方について、自分の将来を想像しながら提案してください。

６　応募条件　　・高校生１チーム３名まで（個人でも可）
※令和３年度に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）、特別支援学校高等部、高等専門学校（３年生まで）に在籍していること
・同一学校でチームを組む
・一人一回の応募とする

７　応募方法　　・公式サイトの応募フォームから予選のプレゼン動画を提出する
応募の流れ　①プレゼン資料作成
テーマを研究し、プレゼンの構成を考える
②動画を撮影（予選３分、決勝５分）
撮影はスマホも可
発表者が画面に見えていること(一時的に見えないのは可)
③応募フォームに必要事項を記入し、動画をアップする
データが大きい場合「ギガファイル便」などを利用

８　日　　程　　６月１日（火）～６月１１日（金）17 時　申し込み・予選動画提出期間
［６月１４（月）～７月１６日（金）予選審査期間］
７月２１日（水）予選通過チーム発表(公式 HP 掲載および通過者に連絡)
７月２６日（月）～８月２０日（金）17 時　決勝プレゼン動画提出期間
８月２８日（土）決勝大会（オンライン開催）

９　予選審査　・審査員が応募作品を視聴し審査（非公開）
・結果をとりまとめ、オンラインでの審査委員会で 10 チーム選出
・公式サイトで結果を発表

10　決勝大会　・予選通過チームは決勝テーマに沿ったプレゼンを制作し、動画を提出
・大会当日、動画を視聴し、審査員がオンラインで質疑応答５分実施
・決勝大会の模様はリアルタイム配信および後日録画配信（YouTube）
　主催者挨拶、審査員紹介、動画視聴・質疑応答、審査、表彰式等
・開催場所　福井県教育総合研究所
・開催時間　午前１０時 ～ 午後１時

11　決勝審査　・全チームのプレゼン動画視聴と質疑応答後、オンラインの審査委員会を行い順位を決定

12　審査委員　予選（４名）
前田鎌利氏（審査委員長）
福井県教育庁より１名
プレゼンテーション協会理事より２名

決勝（７名）
前田鎌利氏（審査委員長）
福井県教育庁より１名
実行委員５名

13　審査基準　(1)テーマに対する考察、根拠、論理性、独創性
(2)メッセージの伝わりやすさ、構成
(3)印象的、効果的なスライド等のビジュアル
(4)話し方、訴求力、説得力

14　表　　彰　最優秀賞　１組　副賞：福井県特産品一人５万円相当
優秀賞　　３組　副賞：福井県特産品一人１万円相当
特別賞　　１組　副賞：福井県特産品一人５千円相当
奨励賞　　５組　副賞：福井県特産品一人３千円相当
参加賞:福井県立恐竜博物館年間パスポート(決勝出場者全員)
※福井県特産品：越前ガニ、若狭カレイ、甘えび、米、若狭牛などから各自で選択

全国高校生

プレゼン甲子園

書　前田鎌利

プレゼンテーションスキルが
必須のこの時代
誰が一番自分の念(おも)いを
伝えることができるのか
集え！ 全国の高校生諸君
今回はオンラインで開催！

念(おも)いを一番伝えられるのは、誰だ？

応募資格　高校生１チーム３人まで（個人でも可）

テーマ
コロナ禍の先にある未来への提言
予選テーマ：コロナ禍でのコミュニケーションロスへの対応
決勝テーマ：アフターコロナの社会

詳細はプレゼン甲子園サイトにアクセス！

日　程
6／1(火)～**6/11(金) 申し込み・予選プレゼン動画提出（17:00まで）**
7／21(水) 予選通過チーム発表（10 チーム）
7/26(月) ～ 8／20 (金) 決勝プレゼン動画提出締切（17:00まで）
8/28(土) 決勝大会（オンライン）

審　査
予選：動画審査　テーマに沿ってプレゼン動画を作成し、提出していただきます（プレゼン時間３分）
決勝：動画審査　決勝テーマに沿ってプレゼン動画を作成し、提出していただきます（プレゼン時間５分）
質疑応答　決勝大会ではオンラインで動画審査、質疑応答を行います

表　彰
最優秀賞　１チーム　副賞：福井県特産品一人５万円相当
優秀賞　３チーム　副賞：福井県特産品一人１万円相当
特別賞　１チーム　副賞：福井県特産品一人５千円相当
奨励賞　５チーム　副賞：福井県特産品一人３千円相当
※ 参加賞として決勝大会出場者全員に福井県立恐竜博物館年間パスポートを進呈します

※福井県特産品
越前ガニ、若狭カレイ、甘エビ、若狭牛などから選択できます

主催 全国高校生プレゼン甲子園実行委員会　共催 (一社)プレゼンテーション協会　後援 福井新聞社

全国高校生プレゼン甲子園は、テーマについて深く考察し、自分の考えや念(おも)いを「伝える」ことで、論理的思考力、表現力、創造力等を養うとともに、互いの発表を通して、プレゼンテーションスキルの向上を図ることを目的として開催します。

応募規定

高校生１チーム３人までで応募してください（個人でも可とします）

※令和３年度に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）、特別支援学校高等部、高等専門学校（３年生まで）に在籍している方
※メディアへの顔、氏名、学校等の掲載について同意できる方
※決勝大会にオンラインで参加可能な方
※同一学校でチームを組み、応募は一人１回とします

テーマ

コロナ禍の先にある未来への提言

予選テーマ：コロナ禍でのコミュニケーションロスへの対応

令和２年度は新型コロナウイルス感染症によって登校が制限され、友人と直接会うこともままならず、SNS などでコミュニケーションを取ることが多かったと思います。しかし、オンラインでのコミュニケーションには限度があります。また、今後もいつ外食や会食が制限されるかわかりません。そこで、在宅であってもリアルと変わらないコミュニケーションを取る方法を提案してください。

決勝テーマ：アフターコロナの社会

コロナ禍の中で人との接し方、普段の生活、働き方など、これまでとはずいぶん変化しました。そこで、コロナ禍を経験した後の未来の社会や生活のあり方について、自分の将来を想像しながら提案してください。

応募方法

①プレゼン資料作成

テーマを研究し、プレゼンの構成を考える

※プレゼンに使うツールは自由とします。PowerPoint などのプレゼンアプリにこだわらず、スケッチブックに手描きしたものを使ったり、動画にテロップを入れたりするなど、自分の考えを一番伝えることができる方法を工夫してください。

②動画を撮影

プレゼンテーションを動画で撮影する

※予選のプレゼン時間は３分以内（決勝５分以内）
※スマートフォンで撮影も OK
※発表者が画面に見えていること（一時的に見えないのは可）

③応募フォームからアップロード

応募フォームに必要事項を記入し、データをアップする

※データ形式、アップロードの方法については④「動画撮影・投稿の方法」を参考にしてください
※データが大きい場合は「ギガファイル便」などを利用しURLを記入

公式サイトに
①「プレゼンテーションの基礎」
②「プレゼン資料の作り方」
③「プレゼンの話し方」
④「動画撮影・投稿の方法」
の動画がありますので、参考にしてください（各10分程度）

スケジュール

4月・5月	6月	7月	8月	決勝大会
大会案内 プレゼン準備	予選応募期間 6/1～6/11 17:00まで	予選審査期間	予選通過チーム 発表7/21 ★ 決勝動画提出期間 7/26～8/20 17:00まで	8/28(土) オンライン

審　査

予選：動画審査　応募動画を審査し、決勝進出10チーム選出します

決勝：動画審査および質疑応答　決勝当日に出場者、審査員をオンラインで繋ぎ、決勝テーマのプレゼン動画を視聴します。その後、質疑応答を５分程度行います

審査基準

①テーマに対する考察、根拠、論理性、独創性
②メッセージの伝わりやすさ、構成
③印象的かつ効果的なスライド等のビジュアル
④話し方、訴求力、説得力

審査委員長

前田　鎌利　（一社）プレゼンテーション協会代表

お問い合わせ

専用サイトから
お問い合わせください

全国高校生プレゼン甲子園
実行委員会事務局
〒910－8580
福井県福井市大手３丁目17番１号
（福井県教育庁 高校教育課内）